

講義名称	マクロ経済学 I	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SOC122

授業のキーワード	国民所得、総需要と総供給、政府の役割
授業の概要	マクロ経済学、一国の経済全体がどのように活動しているのか、説明する学問です。授業目標は、国民所得、総需要と総供給、政府の役割について理解することです。経済の前期科目の知識を前提にして授業を進めます。
期待される学習成果 (目標)	1. マクロ経済学の基本的な考え方を理解できる。 2. 国民所得、総需要や総供給など基本的な用語を使い経済について説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業の概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。
2	国民所得の概念 (1)	国民所得に関する概念を説明します。
3	国民所得の概念 (2)	国民所得に関する概念を説明します。
4	物価とは、名目と実質の違い (1)	名目と実質の違いについて説明します。
5	物価とは、名目と実質の違い (2)	名目と実質の違いについて説明します。
6	消費の理論	ケインズの消費の理論について説明します。
7	貯蓄の理論	消費と貯蓄の関係および貯蓄の決定について説明します。
8	租税とは	租税が消費や貯蓄に与える影響について説明します。
9	マクロ経済学における需要と供給	マクロ経済学における総需要と総供給について説明します。
10	国民所得の決定理論 (1)	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
11	国民所得の決定理論 (2)	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
12	国民所得の決定理論 (3)	国民所得の決定と政府の役割について説明します。
13	インフレギャップとデフレギャップ	インフレギャップとデフレギャップについて説明します。
14	インフレギャップとデフレギャップ	ギャップの計算方法について説明します。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法	定期試験と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	スティグリッツ・ウォルシュ『マクロ経済学』第4版、東洋経済新報社 中谷巖『マクロ経済学 入門』日経文庫 柴田章久 宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣